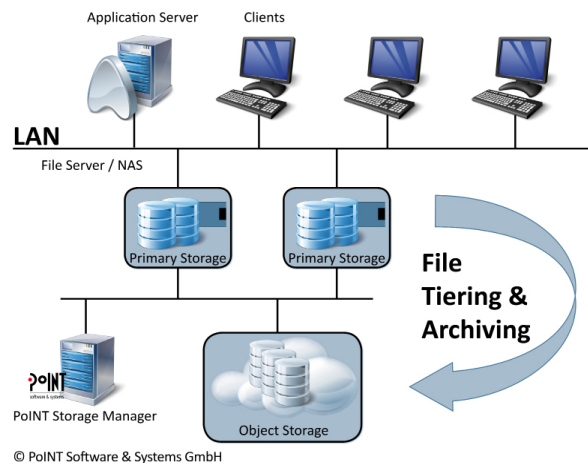


Object-based storage (Object Storage) システムは、最近注目を集めているストレージ技術で、データをファイルフォルダーのアドレスか、ブロック単位でアクセスする従来のストレージ機器に代わり導入され始めています。特にクラウド環境では、主要なベース技術となっています。拡張性に優れ、メタデータの処理方法によりデータ保護を簡素化することが出来ます。従って、アクセス頻度が低いデータをアーカイ

ブするためには最適です。Object Storeは新しいテクノロジーのため、ファイルを保存するためのインターフェイスやプロトコルがメーカー毎に異なっています。PoINT Storage Managerは、Object Storeシステムを既存のストレージシステムに統合し、手間と費用を掛けることなく、有効に活用することを実現します。

FILE TIERING AND ARCHIVING TO OBJECT STORAGE

プライマリストレージはアクセス頻度の低い非構造化データで一杯になり、データをアーカイブし空き容量を確保する必要があります。さらにアクセス頻度の低いデータが、バックアップ対象となることで、バックアップが所定の時間内に完了しないこともあります。プライマリストレージは、データを多数のユーザーで共有出来ることが前提のため、アクセス頻度が低いデータを強制的に移動することではデータアクセスが一元化出来ず、データを効率的に活用出来ません。Object StoreシステムとPoINT Storage Managerを組み合わせ、ポリシーベースでファイル単位の階層管理を行うことで、データを効率的に管理することが出来ます。



ファイルを透過的なスタブに変換し階層化管理を実現出来るプライマリストレージ

- EMC Celerra / VNX
- NetApp FAS
- Windows NTFS/ReFS

利点

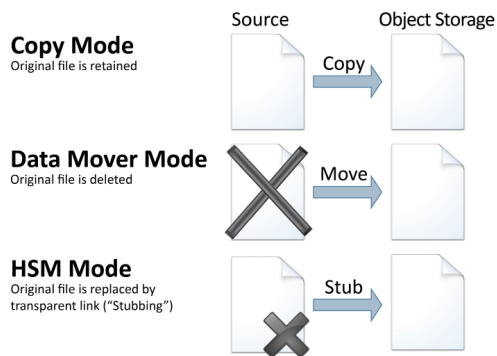
- プライマリストレージのより効率的な使用
- アーカイブ用件のコンプライアンス準拠
- ストレージ機器のベンダー依存からの脱却
- 投資コストの削減
- 生産性の向上

特徴

- ポリシー設定によるファイルの階層管理とアーカイブ
- ファイルのスタブ化による透過的なアクセス
- Data Moverモード
- データのリテンション管理
- アーカイブブラウザー
- レプリケーションの自動化

階層管理とアーカイブ方法

PoINT Storage Managerが提供するファイルの階層管理とアーカイブ方法は、ファイルのコピー(Copyモード)、ファイルの移動(Data Moverモード)、ファイルのスタブ化(HSMモード)です。



© PoINT Software & Systems GmbH

特定のハードウェアベンダーへの依存からの脱却

PoINT Storage Managerは各種のObject Storeシステムへの接続をサポートしています。従って、独自のハードウェアを使用したシステムに対して長期間依存することで予想される予知せぬサポート費用を低減出来ます。ストレージデバイスの入れ替えは、PoINT Storage Managerのデータ移行を使用すればサーバーへのアクセスを変更するだけで稼働状態のまま可能です。

シームレスなデータ移行

PoINT Storage Managerは、Object Storage(と、その他のストレージ機器)をシームレスにアクセス可能な階層管理に統合します。これによりアプリケーション

とユーザーの使用を中断せずに階層間のデータ移行が可能です。データ移行は、ポリシー設定に応じて自動的に実行されます。

PoINT VFSによるCIFSアクセス

アプリケーションは、直接ファイルをObject Storeに記録出来ず、CIFSのような標準のアクセス手段が必要です。PoINT Storage Managersの標準機能であるVFS(仮想ファイルシステム)は、Object StoreシステムにCIFS経由でのファイルの読み書きを可能にし、アプリケーションを変更することなく、Object Storeを活用出来ます。

データレプリケーションの自動化

PoINT Storage Managerは、Object Storeシステムに保存されているデータを自動で他のデバイスにレプリケーションすることが可能です。対象としては、リモートサイトのObject Storeだけでなく、LTOやBlu-rayライブラリーもサポートされています。

Software Development Kit

Software Development Kit (SDK) はPoINT Storage Managerの機能をAPI経由でアプリケーションに組み入れることが出来ます。API経由で、ポリシーベースのジョブの管理やアーカイブされたファイルの検索が可能です。APIはファイルがアーカイブされているハードウェアから独立しているので、LTOやBlu-rayライブラリーとの統合を容易に実現出来ます。

Further Information

さらに詳しい機能紹介と評価用のソフトウェアは、PoINT社のWebページ(www.point.de)と弊社Webページにあります。

Technical Information

Cloud & Object Storage Connectors

- Amazon S3
- Amplidata Himalaya
- Caringo Swarm
- EMC Atmos /ECS /Centera
- HDS HCP
- HGST Active Archive

- NetApp StorageGRID Webscale
- Scality Ring(CDMI/S3)
- Microsoft Azure Blob Storage
- Quantum Lattus

標準仕様でS3とCDMIを使用出来ます。
Note: 上記リストは定期的に更新されます。サポートされているObject Storeに関してはお問い合わせ下さい。

System Requirements

- Windows Server 2008 R2/2012 R2 (通常サーバーとVMware)及びWindows Failover Cluster/Stratus Technologies EverRunで稼動)

Contact Details Partner

有限会社オプティカルエキスパート
〒141-0022
東京都品川区東五反田5-22-37
Tel: +81 (03) 6805-2210
Fax: +81 (03) 5856-5532
email: sales@optical-expert.jp
<http://www.optical-expert.jp>

